

(別記様式) 令和8年度 京都府立宇治支援学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)年間(計画段階・実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
◆教育理念「喜びはともにあること」のもと、教育目標「よりよく生きる力をはぐくむ」を実現するための各学部段階の教育に繋がりをもち、学校全体で進める。 ◆児童生徒が、地域社会に貢献し、地域社会で幸せに暮らすことができるよう、地域や保護者とともに本校の教育を進める。 ◆京都府スーパーサポートセンター(以下SSC)の機能を生かし、各地域支援センターや各教育局、総合教育センター等と連携し京都府内全域の特別支援教育を進展させる。	<成果> ・インクルーシブな教育環境の具体化を目指した15周年プロジェクトによる意欲と個々の強みを活かした取組の創造 ・授業改善推進会議による国語科の授業研究推進 ・公開研究会を実施し開校から15年目の到達点を発信 ・「うじライブラリー」活用による読書活動の一層の推進 ・校内連携とチーム指導のもと児童生徒理解や生活支援を強化 <課題> ・交流及び共同学習の充実と発展によるインクルーシブ教育の推進 ・全学部、全教員で取り組む進路指導の具体化と意識改革 ・働きがいがあり人が育つ職場環境づくりの促進 ・授業や校務におけるAIやICT活用の推進 ・自立活動の指導の充実と児童生徒のキャリア発達支援の具体化	【学校経営】 ・インクルーシブな地域づくりに貢献する特別支援学校の在り方を具体化 ・「UJI STYLE+(プラス)」不易流行と本校ならではの強みや新たなチャレンジを発信 ・人材育成を重点に全ての教職員が学び合い育ち合う学校運営を推進 ・意思表示の機会があり安心できる教育環境の創造 【教育活動】 ・児童生徒のキャリア発達を支える授業づくりを推進 ・学びや成長を生徒自身が実感でき社会参加に向けて可能性を最大限に引き出す高等部教育課程を追求 ・授業や校務におけるAI、ICT利活用の推進 ・共に学び合うことを大切にした交流及び共同学習の充実と発展

	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	全員参加型の学校運営の推進	・インクルーシブな地域づくりに向けた児童生徒・教職員・地域住民が一体となった取組の推進		
		・学校経営方針を具現化する戦略的学部マネジメントの実施		
		・役割の明確化とTeams等を活用した情報共有による一体的な学校運営の推進		
		・行動指針に基づいた心構えと日々の行いにより働きやすい職場環境の共創		
		・「いじめアンケート」、「いきすぎた指導アンケート」、人権研修の実施等による児童生徒や教員の人権を尊重する意識の醸成と指導推進		
		・教職員と連携した、効率的、効果的な事務室の運営		
	人が育つ研修会等の計画的推進	・多様な研修会の実施とチームで取り組む授業改善の推進により学び合い高め合う教職員を育成		
		・スクールカウンセラー、まなびアドバイザー等の活用により児童生徒理解と支援力を高める研修会を実施		
	インクルーシブな地域づくりに向けた取組推進	・センター的機能としてHP活用による特別支援教育の視点からの情報発信を充実させ運用を強化		
		・保護者や地域の声を基にした教育の充実と理解啓発に向けた取組推進		
		・学校運営協議会での熟議による学校経営		
	安心安全を具体化する取組の推進	・日常業務における危機管理意識の徹底と自覚的な行動力の向上		
		・地震対応訓練や避難訓練を軸とした日常での防災意識と行動力の向上と緊急対応訓練(年3回)を通じた危機対応能力の向上。		

		・情報共有とヒヤリハット事象共有による安全な医療的ケアの強化				
	各地域支援センターと共に府内各地域や学校を支えるSSC機能の充実	・府専門家チーム委員を効果的に活用した相談支援、研修支援の充実 ・SSCの役割の明確化と学校支援における新たなシステム作り				
	組織との連携による支援力向上に向けた取組の推進	・市教委等と連携した組織や学習環境への効果的なアプローチの充実 ・就学前機関や高等学校との連携による実態把握と支援力向上につながる相談支援の推進				
教育課程・学習指導	授業改善の推進	・総務教務部を中心に学部間の連続性と各学部の重点、目指す子どもの姿を明確にしたカリキュラム・マネジメントの推進				
		・指導と評価の一体化によるキャリア発達を支える授業作り、授業公開による授業改善研究				
		・AIやICTを活用した授業づくりの充実と活用例等の情報共有				
		・社会とつながる、社会から学ぶ、社会に貢献する地域学習の計画的な実施				
		・インクルーシブな地域づくりに向けた居住地校交流及び学校間交流等の充実				
		・「うじライブラリー」「うじシアター」を活用した読書活動の充実				
		・流れ図等の活用による実態把握、課題の明確化と共有による自立活動の指導				
	個々の生徒に応じた希望進路の実現	・進路指導部を中心に全学部、全教員が取り組む組織的な進路指導の充実				
		・希望進路の実現に向けた実習先の開拓と生徒が実習等の機会を節目に自身を知り自ら進路を切り拓く高等部教育の推進				
		・保護者への情報発信、研修会の実施と地域への発信				
	学習の土台となる生活基盤の確立におけた修学支援の実施	・児童生徒の生活基盤確立におけた適切な実態把握とケース会議の実施				
		・生徒指導対応委員会と各学部が連携し不登校児童生徒の把握、情報共有によるチーム支援の実施(ほっとスペース等の活用)				

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度にむけた改善の方向性	
---------------	--